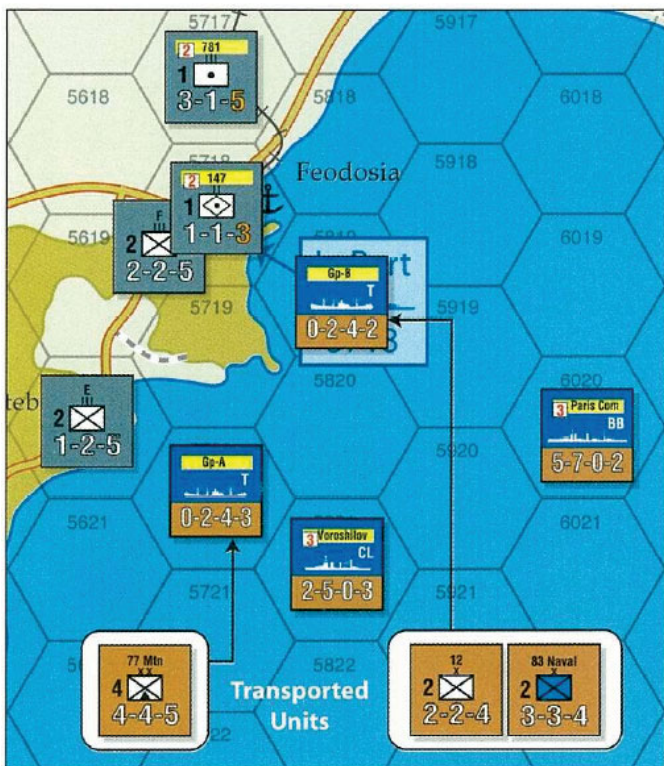


強襲上陸の例

状況：シナリオ 6 #：党幹部の攻撃が進行中。ソヴィエト軍プレイヤーは、Koktebel（ヘクス Q5620）と Feodosia（ヘクス Q5718）に対して強襲上陸を計画している。前のターン中、強襲上陸のために 3 つのユニット（第 12 狙撃兵旅団、第 83 海兵旅団、第 77 狙撃兵師団）が選択され、Kerch（ヘクス 6912）内にスタックして移動を終了した。

現行ターン中の天候は凍結。自動車化移動フェイズに全ての陸上移動が完了した後、各ユニットは活性化マーカーを受け取り、3 個全てが輸送グループ A と B に乗船することを認められている。第 77 山岳狙撃兵師団を持つ輸送グループ A は、海上移動で Koktebel の港に隣接するヘクス 5720 へ移動し、2 個旅団を持つ輸送グループ B は Feodosia の港に隣接するヘクス 5819 へ移動する。戦艦 Paris Commune は、海上ヘクス 6020 へ移動し、CL Voroshilov は海上ヘクス 5821 へ移動する。



海上移動損失表の解決。シナリオの条件で述べるように、使用するコラムにかかわらず全ての損失サイ振りにより+1を加えることになる。海上移動妨害ボックス内に、レベル 1 妨害マーカーがある。ソヴィエト軍プレイヤーは、ここで 4 つのサイ振りを行う。

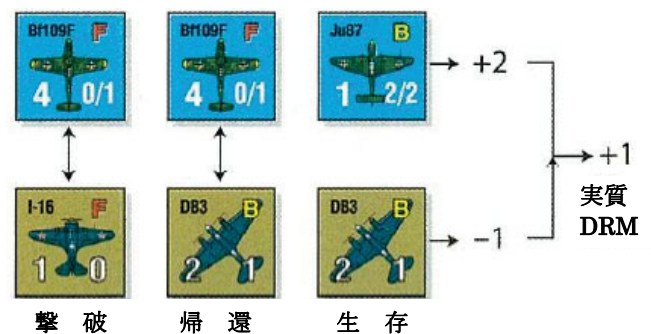
1) 射程内にある第 147CD は、ヘクス 5719 を通過して照準線に輸送グループ A へたどれないため、サイ振りは航空妨害コラム上になる。サイの目は 5 で、シナリオ DRM のため 6 に修正される。結果は帰還である。輸送ユニットは 1 ポイントの損傷を受けたため、そのユニットは強襲上陸を行うことができる。

2) CL Voroshilov は、ドイツ軍第 147CD 砲兵ユニットの射程内にないため、航空妨害コラム上で+1 シナリオ DRM でサイを振る。DR は 1 で 2 に修正され、NE（効果なし）の結果を生み出す。

3) 輸送グループ B は、強襲上陸の防御側ヘクス内にある第 147CD 砲兵の射程内にあるため、その CD 戦力は倍化されて 2 となり、サイの目に+1 を提供する。サイの目修正は+2 である（追加の CD ポイントについて+1 とシナリオ DRM について+1）。悲惨！ サイの目は 0（10）で、航空+CD 砲兵コラムの両+2 DRM を加えると結果は 12（AD2）となる。輸送ユニットは、2 の防護値のみを持ち、2 損傷ポイントを受けなければならない。帰還を無視して 3 番目の損傷ポイントを受け、両旅団はあえなく海上で沈没して失われる。輸送ユニットは港に帰還する。輸送ユニットは 50%異常に損傷を被ったため、輸送されたユニットは 2GT 移動不可マーカーを受け取る。

4) BB Paris Commune は、ドイツ軍第 147 CD 砲兵ユニットに射程内にないため、航空妨害コラム上で+1 シナリオ DRM でサイを振る。DR は 8 で修正後に 9 となり、A（帰還）結果を生み出す。支援するための強襲上陸がないため、BB は帰還して港へ戻る。

強襲上陸。ソヴィエト軍の戦闘フェイズ中、宣言攻撃マーカーが Koktebel ヘクス Q5620 上に置かれる。1 つの I16 海軍戦闘機と 2 つの DB3 海軍爆撃機航空ユニットが表を伏せてヘクス内に置かれる。枢軸軍プレイヤーは、2 つの BF109 戦闘機と 1 つの Ju87 爆撃機ユニットをヘクス内に置く。航空主導権のサイ振りは、射撃ユニットの戦闘を認める。ソヴィエト軍戦闘機は撃破され、2 つの DB3 航空ユニットの 1 つは帰還する。両陣営の生き残っている任務ユニットは、その DRM を相殺して防御側の枢軸軍に+1 となる。AA 射撃はない。



CL Voroshilov からの 2 支援ポイントで、戦闘比は 6 対 2（3 対 1）。ヘクスは高地地形を含むため 2 番目の+1 DRM を加え、枢軸軍プレイヤーは防御しているドイツ軍ユニットに退却不可命令を発令し、3 番目の+1 DRM を加える。サイの目は 7 で、10 に修正される（攻撃側 R*）。強襲は失敗した。強襲上陸ユニットは退却結果を無視するため、第 77 山岳狙撃兵師団は輸送ユニットと共に海上に留まる。強襲上陸は攻撃補給を要求されないため、アスタリスクの結果は無視される。CL Voroshilov は、港へ戻らなければならない。

ソヴィエト軍プレイヤーは、輸送ユニットと強襲上陸ユニットをその現行全海上ヘクス内に留め、次のターンに二回目の強襲上陸を試みる選択肢を持つ。輸送ユニットは、もしもその場に留まると別の海上移動損失のサイ振りを受けないことになるが、次のターンの枢軸軍艦船攻撃の主要目標となるだろう。輸送ユニットは現在 1 損傷ポイントを持つため、そのような攻撃で沈没する危険性は極めて高いので、輸送ユニットと被輸送ユニットも港へ戻り、海上移動損失表でサイを振らなければならない。